

取替え自由！ オリジナルスタンプ。



難易度★ ×1

概要

アクリル板やアクリル棒を加工し、アクリルスタンプを作成します。今回の教室を通して、

レーザー加工 **穴あけ** **ねじ切り**

について学びましょう。

スタンプには自分で好きなデザイン（テンプレも有）を彫刻することができます。

材料

材料名	個数
アクリル板(10mm)	2
アクリル棒	1

使用機械、機具

・レーザー彫刻機

レーザーで板をカット、彫刻できます。アクリル板に文字を彫刻するのに使います。

・ボール盤

穴を開ける工作機械です。アクリル板に下穴を作る際に使います。

・タップ

雌ネジを作ります。アクリル板のネジ切りに使います。

・ダイス

雄ネジを作ります。アクリル棒のネジ切りに使います。



レーザー彫刻機



ボール盤



ダイス



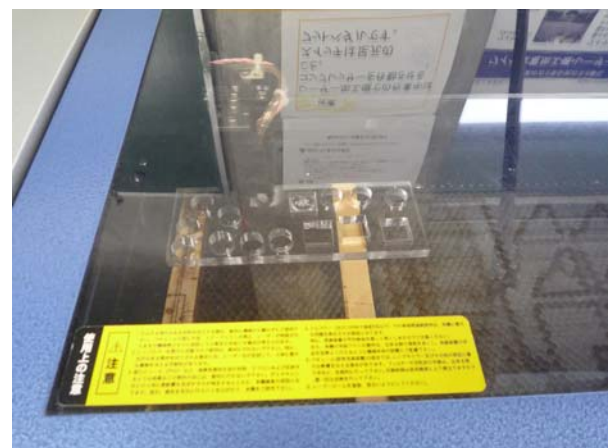
タップ

作業内容

1 レーザー彫刻と切り出し

長方形のアクリル板にレーザー彫刻機でデザインを彫刻します。

ご自分の苗字、またはテンプレートの絵を選択して彫刻することができます。



2 穴あけ

各種ボール盤で彫刻したアクリル板の雌ねじ切りをするため穴あけ作業をします。

8.5mmのドリルでボール盤アクリル板をバイスで挟み、垂直に穴あけします。

※貫通しないように注意しましょう。



3 ねじ切り

スタンプの柄となる棒と彫刻したアクリル板をつなげるためにネジ切りをします。

M10x1.5の**タップ**を使い雌ネジを作ります。次に、柄となるアクリル棒を雄ネジにするためにネジ切りします。

M10x1.5の**ダイス**を使います。

アクリルにグリースをさすと、すべりが良くなり、やりやすくなります。



ダイスでのネジ切り



タップでのネジ切り

4 やすりがけと組み立て

印章部にヤスリがけをして、キレイに紙に乗るようにしましょう。

柄と印章部となるアクリル板をつなげて完成です。





コラム 判子と印鑑の豆知識



○判子と印鑑の違い

最近では判子と印鑑に区別をつけずまとめて印鑑と言っていますが、本来この2つは違うものを指しています。

判子とは主に本体部分のことを言います。判子は4000年前にメソポタミア文明で存在していたと言われており、当時は権力の象徴として使われてきました。以後中国大陆で使われるようになり日本に伝来し、642年に中国と貿易するために高官が持っていた大連之印という判子が日本で現存する最も古い私印とされています。なお現在判子を使っている国は日本や中国、台湾などのアジアの国のみでほとんどの国では直筆のサインなどで契約などが成立するために使われていないのですが、最近の日本ブームで外国人がお土産として買っていくことも多いそうです。

印鑑とは判子の印章部分(文字や絵が彫られている部分)にインクなどを付け、紙や書類に捺したときに残る文字や絵のことを言います。近年ではパソコンの会計ソフトや書類作成用ソフトで形状表や書類を印刷することなく印鑑することができる電子印鑑というものもあります。

○判子の種類

・実印

本人確認ができる判子のことです。住所登録を行っている役所に登録、受理された判子のことです。主に結婚の手続き、家や自動車などの取引に使われています。

・銀行印

その名の通り銀行口座を作る際に本人の確認を行うために必要な判子のことです。近年ではATMが普及したため使われなくなってきているのですが、元々は銀行の窓口でお金を出し引きするために使われていました。

・認印

上の2つに比べ信頼度が落ちるかわりに役所などに登録する必要がない判子のことです。主に荷物の受け渡しや回覧板の記事の確認を行った際に使います。

・遊印

特に意味の無い判子のことです。例えば、消しゴムを彫って作ったスタンプとか、スタンプラリーなどで使われている大きな判子のことです。今回作るスタンプはこれに該当するので、特に実印や銀行印として絶対に使用しないでください。



参考文献

判子・印鑑とは？ パワーブレスレットとは？ <http://www.suisho-inkan.net/>

ものづくり基盤センターの愛称 cremo には、ものを創造するという意味が込められています。cremo では皆さんのアイデアを形にできる体制を整えています。ものづくりを存分に楽しんで下さい。

ホームページ <http://www.muroran-it.ac.jp/cremo/>

©室蘭工業大学ものづくり基盤センター 2011